

平成29年度 活動計画

2017年8月10日(木)

**於:オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
会議室**



平成29年度 運営組織

会長	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 小田切 耕司
副会長	株式会社オージス総研 八幡 孝
理事	SRA OSS, Inc. 日本支社 稲葉 香理
監事	TIS株式会社 溝口 則行
事務局長	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 寺井 亜貴子
事務局	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 担当:寺井 亜貴子、長沼 祥子 TEL: 03-6417-0753 Emai: info@OpenAM.jp

◆ 会員状況

▼ 正会員企業

14社

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社インテック
SRA OSS, Inc. 日本支社
株式会社オージス総研
オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
株式会社キューブテック
チエル株式会社

TIS株式会社
株式会社野村総合研究所
富士通株式会社
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
東芝デジタルソリューションズ株式会社
株式会社ブロードリーフ
サイバーコム株式会社

▼ 一般会員

8社

アルファテック・ソリューションズ株式会社
株式会社エスシーシー
かもめエンジニアリング株式会社
株式会社コネクティブ

有限会社グリーンフラグ
テニック株式会社
デジタル・ヒュージ・テクノロジー株式会社
株式会社RedLotus & DSG-J

▼ 退会

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
PFUアプリケーションズ株式会社(PFUと合併してから連絡取れず)
株式会社ネットマークス(ユニアデックスと合併してから連絡取れず)

◆ 最近の話題・問題

ForgeRock社がOpenAMのソースコードを非公開とする
海外でForkしたり、ソースコードの公開サイトが出来る



OSSTechが保持しするOpenAMのソースコードを公開

<https://github.com/osstech-jp/openam>

日本での不安を解消し、OpenAMの開発継続をアピール
日本語での情報発信も積極的に行う
脆弱性などの不具合修正情報も公開

◆ 設立の趣旨の変更

- OracleによるSunの買収により、Sunが開発したオープンソースのSSOソフトウェアである「OpenSSO」について、国内のユーザ企業から「OpenSSOコミュニティ」の存続に関する不安の声があがっている。
- 日本における「OpenSSO」のユーザ企業、及び「OpenSSO」に関するソリューションを提供しているプロバイダー企業は、ユーザ企業が今後も安心して「OpenSSO」を継続的に利用できるように、協力してオープンソースソフトウェアとしての「OpenSSO」及びそのコミュニティを維持させていく必要がある。
- また近年のコンプライアンスや内部統制の強化という流れから、今後も「OpenSSO」が果たす役割は大きく、さらなる普及の促進や、機能面の継続的な拡張を行っていく必要がある。
- ForgeRock社がOpenSSOから派生したOpenAMをオープンソースとして開発してきたが、ソースコードの公開頻度が低下してきており、オープンソースとしてのOpenAMの存続に不安の声があがってきている。
- 我々は、OpenSSOおよびOpenAMを維持・発展させ、さらに普及させていくことを目的として、「OpenAMコンソーシアム」を設立・運営する。

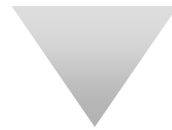
◆ 目的の修正

- OpenSSOを継続して維持・発展させる。
会員企業同士で「OpenSSO」のバグ情報、セキュリティの脆弱性対策の情報交換や連携を行うことで、効率よく維持していく。
- 「OpenSSO」と「OpenAM」とを統合する。
今後、会員企業が行う「OpenSSO」に対するメンテナンス、及び機能拡張は、基本的に「OpenAM」のリポジトリに対して行う。
- ~~「OpenSSO、及びOpenAM」~~の普及を促進する。
コンソーシアムとして、セミナーの開催や、イベントへの出展を行い、~~「OpenSSO、及びOpenAM」~~の普及に努める。
- 日本のマーケットに対して、「OpenSSO、及びOpenAM」が安心して、継続的に利用できることを認知させる。
コンソーシアムとして、セミナーの開催や、イベントへの出展を行い、~~「OpenSSO、及びOpenAM」~~の普及に努める。

活動コンセプトの確認

OpenAMの普及発展(OpenAMの開発継続、OpenSSOからの移行)を目的とする。

各社のソリューション紹介だけでなく、事例の公開によりOpenAMのメリットや、OpenAM使用時の懸念点の解決方法などを中心に、コンテンツを作成し、公開(発信)していく。



開発WG→技術Tipsをメンバーで分担し、PDF形式で掲載。
コンテンツ内容については、メンバー相互にレビューを行い、
コンソーシアム監修として掲載する事とする。

ユーザWG→継続的に事例を集約し、公開していく。

年間2回(春・秋)のプレミアムセミナーを開催する。

全会員企業により事例や技術情報の交換や連携を行う。

コンソーシアム発信により啓蒙活動を行う。

◆ 平成29年度 活動方針

- **技術Tips(PDF形式公開)をWGで実施しWeb、Facebook、Twitterに掲載する。**
→コンテンツリストは次ページ参照

記事のライセンスは、Creative Commons 4.0 のBY-NC-SA (表示、非営利、継承)
記事のレビューにメーリングリストを使う

- **会員事例を集め資料化する。**
→追加事例を募集する

- **資料化されたアウトプットをWebやチラシとして公開/配布する。**
→<http://www.openam.jp/category/member/products> を改訂

- **技術セミナーおよびビジネスセミナーを上/下半期に各1回のペースで実施する。**
→ビジネスセミナー、技術セミナー

- **OpenAMのソースコード公開はOSSTechを中心に行う**
<https://github.com/osstech-jp/openam>
コンソーシアム専用のページを作るかは今後の議論としたい



技術TIPS予定コンテンツ

掲載順	タイトル		公開予定時期
	OpenAMインストール手順 (OpenAM + Tomcat + Active Directory)	オージス総研	
	Office365 (ADFS) との認証連携設定	オージス総研	
	WindowデスクトップSSO+代理認証を利用したSSO環境の構築	チエル	
	OAuth認証モジュール設定手順	OSSTech	
	OpenID Connectモジュールのざっくり検証結果	オージス総研	
	ワンタイムパスワード(HOTP)を使った二要素認証の設定	オージス総研	
	証明書を使った二要素認証の設定	オージス総研	
	位置情報を考慮した多段階認証の実現	NRI	
	OpenAM XACMLの利用法	富士通	
	認証モジュール開発の超入門編	オージス総研	

活動の活発化

- **メーリングリストを使っての活動の活発化**
 - board@openam.jp = **理事会**
 - info@openam.jp = **事務局**
 - staff@openam.jp = board + info
 - OpenAM-event-member = **イベント通知用**
 - OpenAM-regular-member = **正会員**
 - OpenAM-general-member = **一般会員**
 - OpenAM-tech = **開発WG**
 - OpenAM-users = **ユーザーWG**
- ◆ **会員の皆様、積極的に投稿お願いします。**
 - ◆ **自社Webでの技術情報や事例紹介など**
 - ◆ **有用なものはopenam.jp からリンクを張る**

◆ 平成29年度 活動計画

	活動	時期	詳細
1	WEBサイト	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術Tips情報ページの運用 → 開発WG各社が得意とする分野について、持ち回りでコンテンツを提供し、継続できるような運用とする ・ Facebook (http://www.facebook.com/openam.conso)、Twitter (ハッシュタグ #openam_jp)の運用の活性化 → 投稿内容: 会員各社のセミナー情報など
2	イベント	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各社のイベント時にコンソーシアム資料を配布 ・ JICS : Japan Identity Cloud Summit 2017協賛(ロゴのみWEB掲載、集客協力)
3	ワーキンググループ		
	開発WG	年3回	・ 定期的な情報交換会の実施(4 or 6ヶ月に一度)
		通年	・ 技術Tips情報ページのすりあわせ等を随時実施
	ユーザWG	年2回	・ 定期的な情報交換会の実施
		通年	・ 事例資料の作成、更新
	合同ミーティング	年2回	
4	セミナー	年2回	・ 技術情報、事例セミナーの実施(秋、春の2回開催を予定)
5	その他	随時	・ 他の団体(※1)との連携や共催セミナー開催など

※1: 医療分野認証基盤整備コンソーシアム、オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)、日本OSS推進フォーラム、情報サービス産業協会(JISA)など

セミナー 計画案

時期	活動項目
開催日程	
会場規模	
講演内容	
対象層	ビジネス、経営者、営業向け
その他	懇親会あり

時期	活動項目
開催日程	
会場規模	
講演内容	
対象層	技術者向け
その他	懇親会あり

◆ 平成29年度 活動スケジュール

時期	活動項目
6月	
7月	
8月	総会
9月	JICS : Japan Identity Cloud Summit 2017協賛
10月	開発WG
11月	
12月	
1月	技術セミナー
2月	
3月	
4月	開発WG、ユーザーWG
5月	

The banner features a blue background with a stylized globe on the right side, composed of various blue and white geometric shapes and lines. On the left side, the text "OpenAM" is written in a bold, white, sans-serif font, with "コンソーシアム" (Consortium) written below it in a similar white font.

OpenAM
コンソーシアム

<http://www.openam.jp/>